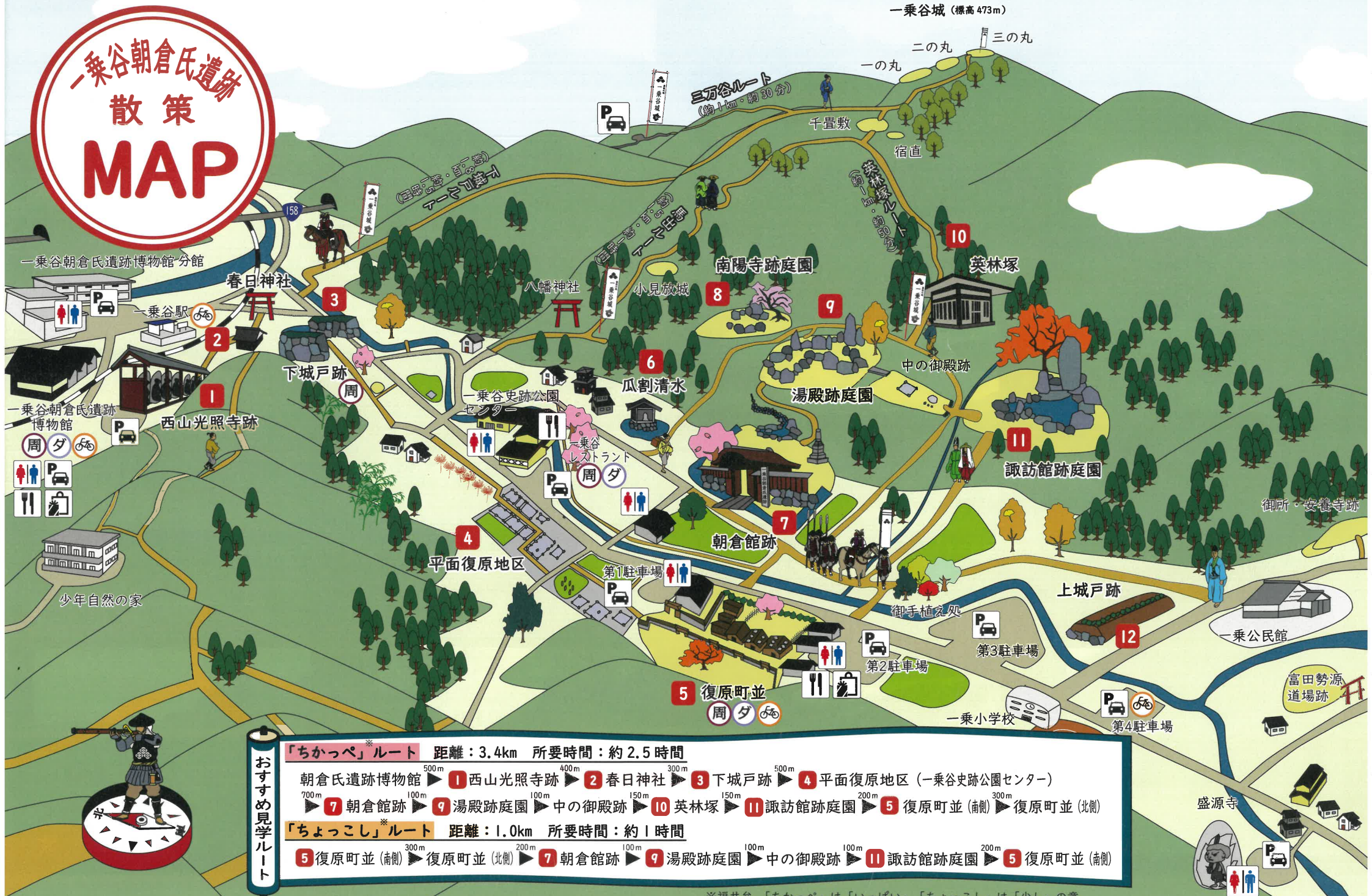


一乗谷朝倉氏遺跡 散策 MAP



おすすめ見学ルート

「ちかっぺ」*ルート 距離：3.4km 所要時間：約2.5時間
 朝倉氏遺跡博物館 ▶ 1 西山光照寺跡 ▶ 2 春日神社 ▶ 3 下城戸跡 ▶ 4 平面復原地区（一乗谷史跡公園センター）
 ▶ 7 朝倉館跡 ▶ 9 湯殿跡庭園 ▶ 中の御殿跡 ▶ 10 英林塚 ▶ 11 諏訪館跡庭園 ▶ 5 復原町並（南側）▶ 復原町並（北側）

「ちょっこし」*ルート 距離：1.0km 所要時間：約1時間
 5 復原町並（南側）▶ 復原町並（北側）▶ 7 朝倉館跡 ▶ 9 湯殿跡庭園 ▶ 中の御殿跡 ▶ 11 諏訪館跡庭園 ▶ 5 復原町並（南側）

*福井弁。「ちかっぺ」は「いっぱい」、「ちょっこし」は「少し」の意。

凡例

- トイレ
- 駐車場
- 食事処
- 売店
- 登山道入り口
- 周遊バスのりば
- ダイレクトバスのりば
- レンタサイクル



にしやまこうしょうじあと
西山光照寺跡

ここは天台宗真盛派で、一乗谷最大の寺院でした。付近には40体ほどの石仏を中心に多数の石仏石塔が残っています。



へいめんふくげんちく
平面復原地区

この地区は幹線道路が南北に走り、道路沿いには大甕を並べた紺屋をはじめ、数珠屋、鋳物師、檜物師、研師などの職人の家や坪庭のある医者の家が立ち並び町家を形成していました。



あさくらかなおかあと
朝倉館跡

5代当主朝倉義景が住んだ館の跡です。主殿、会所、日本最古の花壇のほか、台所、廬、蔵などが整然と配されていました。東側の山際にある館跡庭園はその洗練された石組に京都との交流がしのべれます。



えいりんづか
英林塚

館から5分ほど山道を登った山間にある初代孝景の墓。孝景は初めて一乗谷に築城し、繁栄の基礎をつくりました。



かすがじんじや
春日神社

治暦4年(1068)に一乗谷の入口「阿波賀」の地に創建され、朝倉氏の時代には歴代当主の崇敬を受けました。



ふくげんまちなみ
復原町並

ここでは、堀に囲まれた重臣の屋敷が山際に並び、計画的に造られた道路をはさんで、武家屋敷や庶民の町家が形成されていた様子を忠実に再現しています。



なんりやうじあとていえん
南陽寺跡庭園

南陽寺は、3代貞景が娘のために再建した尼寺で、庭には石組等が残っています。ここは後の室町幕府將軍となる足利義昭を招いて親桜の酒宴を催したところで、庭前には美しい糸桜があったと伝えられています。



すわやかたあとていえん
諏訪館跡庭園

諏訪館は朝倉義景の妻「小少将」の館で、その庭園は遺跡の中でも最も規模の大きいものです。中心の4m余りの巨石には江戸時代末に彫り込まれた3代貞景、4代孝景等の法名が残されています。



しもきとあと
下城戸跡

谷が最も狭い地点に土塁が45+以上の巨大石で築かれ、城門とされました。(長さ約38m、高さ約4m)



うりわりしやうす
瓜割清水

当時の儀式や当主の生活用に使われたと考えられる湧き水。約450年経った現在も澄んだ冷水が湧き出しています。



ゆどのあとていえん
湯殿跡庭園

朝倉館跡を見下ろす高台にあります。どの石も強い表情を持ち迫力があります。ほかの庭園とは様式も感覚も異なり、一乗谷で最も古い庭園とされています。



かみきとあと
上城戸跡

城下町の正門にあたります。外側には濠があり、土塁の上には防御のための堀があったと考えられています。(長さ約100m、高さ約5m)